

今までにどんなことを議論してきた？(1)

1 平日の公園利用者拡大について考えてみよう！

(H21 第2回全体会～第4回コア会議)

当時、140のアイデアを27項目に整理した。

その中から、投票数をもとに

「モリコロパークの健康診断」
「学校と連携した校外学習の場づくり」
「アンケート調査」

平成21年度における
「活動提案とその方策」の提言とされた。
毎年、総会において
当年度の「活動提案とその方策」は
議論されている。

ちなみに…

「モリコロパークの健康診断」は現在も作成中。

「学校と連携した校外学習の場づくり」は

地球市民交流センターの運営計画へ繋がる…

「アンケート調査」は利用者満足度調査を毎年秋に行っている。

ちなみに、3項目以外の内容も公園の運営の参考になっている。

	活動の提案	投票数
1	アンケート調査	6
2	モリコロパークの健康診断	10(9)
3	いつも人が集まるイベントや教室等開催	4
4	平日プログラムの常設	2
5	学校と連携した校外学習の場	7
6	農業体験	3
7	自然観察会の実施	3
8	健康づくり	1
9	スポーツ教室	1
10	食育	2
11	造園講座(日本庭園手入れ講座)	2
12	大人向け文化講座	2
13	自然とアートが融合した企画	3
14	いつでも参加可能なプログラムの常設	4
15	大人のサロン	1
16	留学生との交流会	0
17	外国人による料理・文化講座	1
18	ナショナルデー・ナショナル月間	3(4)
19	公園ガイドツアー	4
20	学校等教育機関への売り込み、出前講座	1
21	企業や組織等への売り込み、出前講座	1
22	公園マネジメント会議専用ホームページ	4
23	公園情報誌発行	1
24	園内ボランティアの育成	4
25	夏季の開園時間延長	1
26	リニモとの連携	1
27	園内バスの有効活用	0
	計	72(72)

学校と連携した校外学習の場づくり

- (例)NPOによる活動ケース(万博村の会)
名古屋市を誘致
園内施設(もりの学舎、愛知県児童総合センター)プログラムと連携。
国際交流と組み合わせて実施。



アンケート調査(1)

目的: 利用者ニーズの把握

実施時期: 毎年秋に実施

実施場所: 園内各施設(4箇所)にて実施

内容: 来園特性(交通手段、だれと来たか、情報入手手段)

利用動機

利用実態(滞在時間、来園頻度、利用施設)

利用者満足度(景観、清潔感、スタッフの対応、食堂・売店など11項目、
モリコロパークにもう一度来たいか)

個人属性(性別、世代、所在地、職業)

サンプル数: 平日・土日祝日及び各施設別合計で約2,500サンプル

アンケート調査(2)

H21と22年度のアンケート結果より分かった利用者特性の一例

- ・平日の公共交通機関利用は15%→**20%**へUP ↑
- ・平日来園者は家族連れ約4割、友人・知人約3割、**ひとりで来る人**UP ↑
- ・情報入手は、「友人・知人からの**口コミ**」が**一番多い**
- ・利用目的は、「**園内散策**」が一番多い。
「**愛知万博の跡地に行きたい**」UP ↑
また、「のんびりくつろぐ」、「自然との触れ合い」「家族・友人とのふれあい」という精神的効用を求めて来園するニーズが多い。
- ・**来園頻度**はUP ↑、反面、滞在時間はDOWN ↓
- ・利用目的施設は、「**サツキとメイの家**」が一番多い
- ・利用者満足度は、維持する要素「手入れの状況」「自然との触れ合い」
「スタッフの対応」「清潔感」
改善する要素「標識・看板のわかりやすさ」「食堂・売店」
「万博を思い出させる施設・演出」
95%を超える来園者が「**もう一度来たい**」と回答。

今までにどんなことを議論してきた？(2)

2 地球市民交流センターの運営計画について

(H21第2回コア会議～第4回コア会議、H22第2回コア会議～第3回コア会議)
(H22第1回コア会議より)

<利用について>

- ・地球市民交流センターの施設名が長い、施設内容がわかりにくいので、愛称をつけたり、キャラクターを使うのはどうだろうか。
- ・地球市民交流センターの魅力は①施設利用料が安い、②街中の施設に比べて予約がしやすい、③駅から直結した位置にあるという三点である。
- ・モリコロ友の会という仕組みを設けてはどうか。(ポイント制の導入・情報の特典・優待券・リピーターの確保)
- ・女性の利用客を増やすために、魅力的な飲食店や託児所、休憩所を作るのはどうか。
- ・食の広場を充実させるために、朝市やギネス挑戦などのイベントを開催してはどうか。
- ・年間で週毎にテーマを設定しサービスを提供するのはどうか。
- ・利用時間の制約をなくして欲しい。

<運営について>

- ・情報発信について、もっと考えるべきである。(インターネット・携帯電話のメール・藤が丘駅での広報など)
- ・モリコロ友の会を設立し、会費と会員特典が等しい価値となるようし、利用者増を狙う。
- ・体育館の利用促進するために、あらゆる分野に裾野を広げずスポーツに特化したイベントを行う。
- ・子供用のプログラムばかりでなく、大人用プログラムの提供を考える。(食の広場の活用)
- ・イベント運営にあたって、道具を置く場所が欲しい。また他の団体と共用で使える道具があれば、施設側で購入するか、他団体と共同購入出来ないか。
- ・パートナー登録団体同士の連絡網や話し合いの場が欲しい。
- ・イベント運営側の駐車場料金の無料化を台数制限あっても良いので実施して欲しい。
- ・イベント予約を現状よりも手軽に出来るようにすると良い。(QRコードの活用など携帯電話からも行えるようにする)

上記のような議論をもとに地球市民交流センターの運営について、次のような取り組みを始めている。

公園マネジメント会議での議論事例(4)

地球市民交流センターの利活用促進対策

行政/NPO・企業と協働で学校等団体向けプログラムを開発・実施

実は学校と連携した校外学習の場づくりに繋がっている・・・
 H22. 10～H23. 10までに85団体6, 977人が利用。

The collage features several brochures and program details for the Earth Citizen Exchange Center. At the top left, a brochure titled '地球市民交流センター' (Earth Citizen Exchange Center) lists '団体向けプログラムのご案内' (Programs for Groups). To its right, another brochure details '団体向けプログラムの特徴' (Features of Programs for Groups) and '団体向けプログラムの内容' (Content of Programs for Groups). Below these, there are two tables: '環境プログラム' (Environment Program) and '交流プログラム' (Exchange Program), both with columns for program name, duration, and fee. The bottom right section includes '水の探検隊も津波石鹸作り' (Water Expedition and Tsunami Soap Making) and 'タイムアップせん!10年後のあなたへ!' (Time Up! To You 10 Years Later!).

公園マネジメント会議での議論事例(5)

地球市民交流センター パートナー
を募集しています！

Tel 0561-64-1190
E-mail: gk@city.chikyu-shi.jp

<http://www.wpl-exod2006.jp/chikyushin/>

地球市民交流センター 施設利用のご案内

◎ 休館時間、登録時間、登録のスタッフの人数等

1. 登録時間

平日 (9:00~12:00)・午後 (13:00~17:00)・土曜 (9:00~21:00)・休日

2. 登録のスタッフの人数

利用目的	登録時間	人数	備考
来園者の参加・観覧で使用するプログラム等の実施	実施日の前々月	1名	1人1名登録するまで可 (複数回)

来園者向けプログラムを実施するパートナー登録制度

＜特徴＞パートナー登録は団体以外に個人でも可能。

パートナーになると部屋・備品代は**無料**

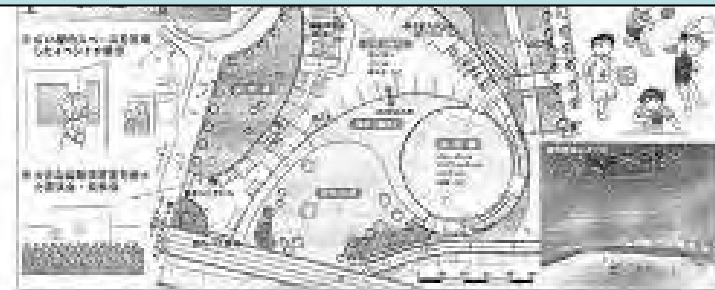
＜活動状況＞H23. 10現在で登録団体・個人は**123**

(うち公園マネジメント会員は**22**)

H22. 11～H23. 10までの実施回数は**328**。利用者数は約**94千人**

4. 登録の場所
〒460-1110 豊田県豊田市長町字新田1-1-10
地球市民交流センター

電話 (0561) 64-1190 FAX (0561) 61-2100
受付時間 9:30~17:15 (土日祝日を除く)



こんなことも議論しています・・・

**毎年年度初めの「総会」においては、
当年度の「活動提案とその方策」について
議論しています。**

■ 今までにどんなことを議論してきた？(3)

**議題：「公園マネジメント会議で
今年度取り組むことについて
会員の皆さんで考えてみましょう！」**

**昨年度の公園マネジメント会議の評価書などから、
改善点として提示された5つのテーマ**

1 「団体利用（学校向け）利活用促進対策」

2 「情報発信」

3 「食」

4 「環境・エネルギー」

5 「ノンジャンル」

ごとに実現できるようなアイデアを出し合い、意見交換しました。

今までにどんなことを議論してきた？(3)

<意見交換の様子>

セッション1 話してみたいテーマのテーブルに分かれて議論してみよう！



セッション2 議論された内容を更に深めてみよう！



セッション3 議論された内容をまとめてみよう！

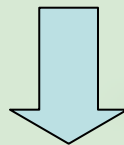


全体セッション みんなで情報を共有しよう！



まとめ

1. 夏のイベントから「食」を変える
2. 営業ツール分科会を始める
3. 協働型環境ムーブメントを起こす
4. 地球市民交流センターのビジターセンター化



各会員が議論したまとめを意識して、具体的に成果ができるよう、1年間公園での活動に取り組んでいきます。

今までにどんなことを議論してきた？(3)

活動分野		活動の提案	進捗状況	内容		
			現在(11/末)	実施内容	実施予定内容	
夏イベントから「食」を変える	総会	多国籍の食の屋台村	△		12/23開催 あいち国際BBQ忘年会 2011(NPO法人 愛・地球プラットフォーム)	
		食育プログラムとの連携	○	地球市民交流センター団体利用向け及び一般向けプログラム(蒸しパン作り、フェアトレードコーヒー、米粉団子のスープ、季節のお菓子作り、夏野菜のカレー作り、節句のお菓子と季節のお菓子作り、五平餅、鬼まんじゅう)		
		災害食の体験コーナーも	×			
		バーベキューコーナーの活用	○	10/22開催「バーベキューをしませんか(都市整備協会)、秋まつり、愛フェス(NPO愛知ネット)、森と草原の地球教室(愛知県立大学多文化共生研究所)ほか	12/23開催 あいち国際BBQ忘年会 2011(NPO法人 愛・地球プラットフォーム)	
		食べられる場所の確保も大事	○	雨天時の団体利用対策として、屋根のある場所での飲食誘導(都市整備協会)		
	万博村の企画	デザートイベント	△		1/29開催 第6回全国スイーツマラソンin愛知(スイーツマラソン実行委員会)	
		食の広場で朝一産直市場	○	11/26開催愛農生産組合30周年記念イベント「未来の子供たちへこの朝を」(愛農生産組合)		
		食の広場で「若者×農」の交流演出	×			
	営業ツール分科会を始める	総会	「市民活動に関わっているお母さん」のネットワークを活用し、モニタリングする	△		営業ツール分科会にてお母さんグループからアンケート・モニタリング予定
			学校の先生のモニタリングを行う。	○	8/3実施 長久手現職教育委員会に地球市民交流センターPR&プログラム体験	
夏のイベントに、(お母さんグループと学校の先生)を呼ぶ			×			
360人単位でも対応できる環境プログラムの開発・提示			○	地球市民交流センター団体向けプログラム利用(複数プログラムを時間場所をわけて実施)6/1知多・常滑・大府大和幼稚園(合計約780人)		
万博村の企画		情報発信は、報告ではなくて予告で(季節もの、イベントもの)	○	公園HPIはイベント情報を発信している。		
		万博の記憶・思い出を語るサロン・バーが必要(おしゃべり×語り合える)	×			
		モリコロパークを知ってもらおう!(わくわくドキドキする空間作り)	△		営業ツール分科会におけるモリコロパークのトリビア探しなど	
協働型環境ムーブメントを起こす	総会	子供向けエネルギーづくり体験の場をつくる	○	地球市民交流センター団体利用向け及び一般向けプログラム(10/18、11/27 レモン電池からエネルギーを学ぶ)		
		食の自給自足体験(田んぼ作り、作物作り、あぐりん村と連携)	○	あいちサトラボでの実践活動への一般参加者の募集、福刈りへの来園者参加(10/16)		
		「エネルギーと食の自給自足体験」をモリコロパークの売りにする	△		来年度供用する予定の太陽光パネル(約80KW)をPRしていく。 あいちサトラボの活動をよりいっそうPRしていく	
		モリコロ環境サミット、モリコロ環境大賞の企画と運営	×			
総	総	薄暗くひんやりした場所をプラスに活用する	×			
		音楽を鳴らして、雰囲気良くする	○	地球市民交流センターでBGMを流している。(協力:モリコロ会)		

■ 今までにどんなことを議論してきた？(4)

最近はどんなことを協議しているかというと…

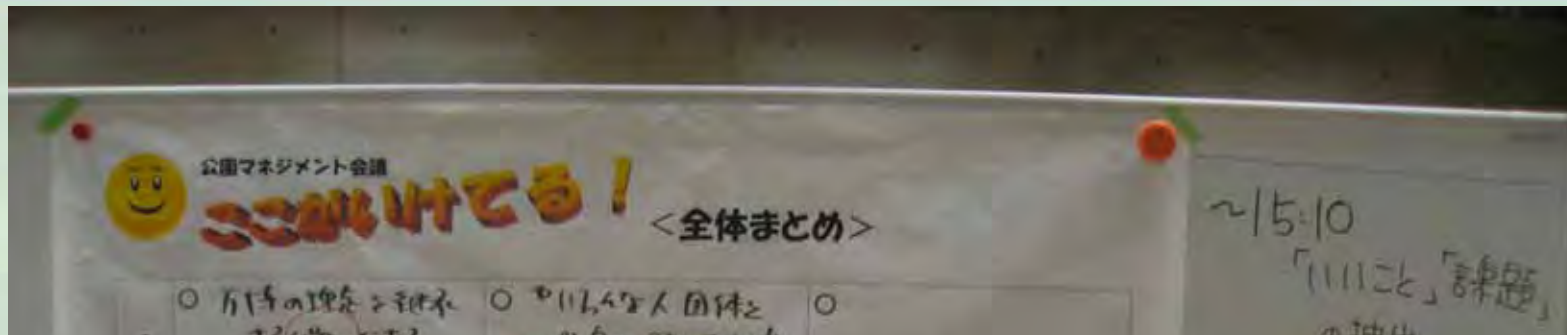
いままで議論してきたことを
振り返る時間を取りました。

「公園マネジメント会議の使い方を考えてみよう！」
(H23 第2回コア会議より)

「○ここがイケてる」
「×ここがイケてない」
を会員相互で議論した。

結果は…

今までにどんなことを議論してきた？(4)



「ここがいてる！」

○いろいろな出会いがあり、活動が広がった。

○利用者目線だけではなく、主体者目線になることができた。
(ゲスト→ホストへ)

相互作用

○管理者も利用者目線になれたこと。



「ここがいけてない(泣)」

- ×1 議論の結果やアイデアの実行性や実現性を高めていける仕組みについて議論する。
- ×2 公園内管理体制の役割分担などの全体像を明確にする。
- ×3 この組織に関する本質的な議論を行う。
- ×4 分かりやすくスピーディーな情報発信に向け、内部・外部に対してできることを検討する。



- ×1, 2 → 12月20日に開催した臨時総会で議論
- ×3 → 1月31日に開催予定のコア会議で議論
- ×4 → 営業ツール分科会で議論